

「ふるさとCM大賞」W受賞 町の魅力を発信

町魅力あるまちづくり実行委員会（清野明実行委員長）は12月22日(金)に町役場を訪れ、木賊正男町長にKFB・東邦銀行ふるさとCM大賞の「視聴者賞」「ベストパフォーマンス賞」のダブル受賞を報告しました。清野実行委員長は、「今回はSNSでの宣伝にも力を入れた。CMを多くの人に視聴してもらい、町を知るきっかけにしてほしい」と話しました。



木賊町長に受賞を報告する委員

東日本大震災時の恩返し 石川県輪島市へ支援物資

町は、1月6日(出)、能登半島地震の避難者支援のため、石川県輪島市に緊急支援物資を搬送しました。東日本大震災の際に、鏡石町が輪島市から義援金を贈られた経緯があり、その恩を返すため、不足している品目を確認したうえで、ペットボトル水、保存食パンなどの食料や紙おむつ、カイロなどの生活用品を、町職員3名が現地の避難所まで届けました。



輪島市の職員に支援物資を渡す町職員

能登半島地震義援金募金活動 一日も早い復興を願って

町赤十字奉仕団（渡辺啓子委員長）では、町健康福祉センターで行われた1月15日(月)の医学講演会、1月21日(日)の防災講演会に合わせて、能登半島地震に係る募金活動を行いました。集まった募金額は85,640円です。義援金は、日本赤十字社を通して被災者に届けられます。皆様のご協力ありがとうございました。



募金活動を行う町赤十字奉仕団

富山県氷見市へ職員派遣 被害調査業務等支援

能登半島地震により被災した富山県氷見市に、町職員2名が1月25日(水)から31日(水)までの7日間派遣されました。1月24日(火)には出発式が行われ、職員が町長に出発を報告しました。町長は、「健康に留意し、被災者に寄り添った支援をお願いしたい」と激励の言葉を述べました。派遣される職員は、住家の被害認定調査などの業務の支援に携わります。



富山県氷見市への出発を報告する職員

町消防団が出初式

町消防団の出初式が1月4日(木)、町健康福祉センターで行われ、団員ら約120名が出席しました。式では、添田孝利団長が「団員不足が深刻な問題となっている厳しい現状ではあるが、団員が一致団結して努力していきたい」と訓示し、団員らが通常点検を受けました。また、鏡石中学校と岩瀬農業高校の吹奏楽部の主に金管楽器を担当する生徒が、町消防団への一日体験入団としてラッパ隊に加わり、見事な演奏を披露しました。式終了後は、町内防火パレードが行われ、地域住民に火の用心を呼びかけました。

災害のない明るい一年に



通常点検を受ける団員



ラッパ隊に加わった鏡石中学校、岩瀬農業高校の吹奏楽部の皆さん



車両点検を受ける団員

令和6年 年賀交歓会 新年祝い 交流深める

町主催の年賀交歓会が1月4日(木)、鏡石館で行われ、約90人が出席しました。木賊正男町長から、「今年は町長として3年目を迎えるので、最善を尽くす覚悟で、当初から掲げている3S(スマイル・スピード・シンプル)を基本に取り組んでいきたい」とあいさつがありました。その後、特別純米酒「鏡の雫」の酒樽で鏡開きが行われ、出席者は年頭のあいさつを交わし、新年を祝いました。



出席者の代表による鏡開き

町交通安全協会が祈願祭 安心安全な町を目指して

町交通安全祈願祭が1月7日(日)、鏡石鹿嶋神社で行われ、町や町議会、須賀川警察署、各交通関係団体などから約20人が出席しました。神事では各団体の代表者が玉ぐしを捧げ、町交通安全協会の橋本隆夫会長が「今年も交通事故のない安心安全な町を目指して、交通安全母の会と協力し合いながら、一層活動に取り組んで参ります」とあいさつしました。



玉ぐしを捧げ、無事故を祈願する橋本会長